

拠点名：三次元半導体研究センター

全体構想： 福岡県では世界最大の半導体生産・消費地域である東アジア地域との近接性を生かし、本県を国際的な先端システム LSI 開発拠点化することを目指し、産学官連携による「シリコンベルト福岡プロジェクト」を展開している。今回新たに先端実装技術の研究開発拠点を設けることにより、半導体の設計から実装、実証まで一貫して支援可能な「半導体プラットフォーム」を構築し、世界をリードする先端システム LSI 開発拠点を確立する。

期待される地域活性化

三次元実装技術を中心とした新たな実装関連技術の研究開発を促進し、地域内外の企業に実装設計・試作・テスト環境の提供を行う地域産学官共同研究拠点（三次元半導体研究センター）を活用し、福岡を国際的な先端システム L S I 開発拠点として発展させ、地域内企業の技術力向上、地域外企業の福岡への集積、参入企業の増加、ベンチャー企業の創出を加速し、地域経済の活性化を図る。

主な共同研究開発課題

本拠点事業では、三次元実装に関する試作・評価の一貫したラインを活用し、新たな実装技術である部品内蔵技術やその設計評価技術等に関する産学官共同研究開発を実施し、実装技術の標準化（デファクト化）や研究成果の実用化・企業化を目指す。

研究開発実施テーマ

半導体実装プラットフォームの研究開発

半導体集積回路の高歩留り化プラットフォームの研究開発

異種機能集積システム L S I を牽引するマイクロ接合技術の研究開発

提案機関： 官：福岡県

学：九州大学、九州工業大学、福岡大学

産：福岡先端システム LSI 開発拠点推進会議、(財)福岡県産業・科学技術振興財団

参画機関： 九州大学、九州工業大学、福岡大学、企業

運営体制： 事業運営委員会

- 委員長 開 俊一 (三次元半導体研究センター・センター長)
- 委員 友景 肇 (福岡大学・教授 兼 三次元半導体研究センター・副センター長)
- 委員 安浦寛人 (九州大学・理事・副学長)
- 委員 森下 順 ((株)ウォルツ・代表取締役)
- 委員 有田 潔 (パナソニック ファクトリーソリューションズ(株) 新規事業推進室・総括)
- 委員 加藤義尚 ((株)メイコー・法務地財部担当部長)
- 委員 塚元憲郎 (福岡県商工部・部長)
- 委員 藤元正二 (福岡県工業技術センター・センター所長)
- 委員 松家 繁 ((財)福岡県産業・科学技術振興財団・専務理事)

拠点事務局 財団法人福岡県産業・科学技術振興財団 システム LSI 部

住所：福岡市早良区百道浜 3-8-33

Tel.092-832-7151

拠点設置場所

拠点名：三次元半導体研究センター

住所：福岡県糸島市東 1 9 6 3 - 4

Tel.092-331-8550

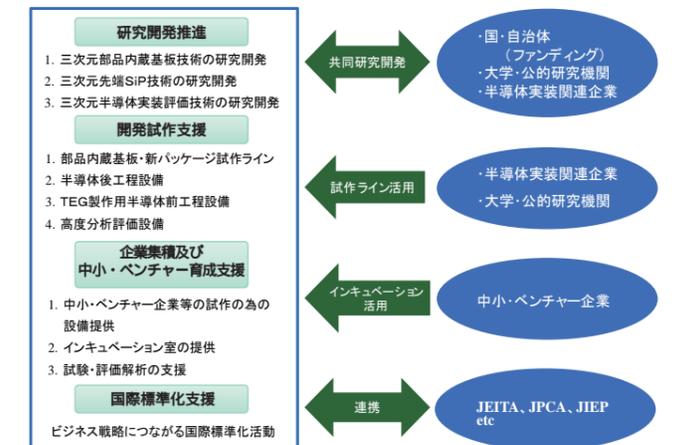
「福岡の半導体開発総合支援体制」



「三次元半導体研究センターの概要」



「三次元半導体研究センターの機能」



「三次元半導体研究センター（左）」「社会システム実証センター（右）」完成図 平成 2 3 年 3 月開所